



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東  
コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 佐藤 勉  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 兼 広報・IR (氏名) 蓬田 宏樹 TEL 03-3560-5505  
部 ゼネラルマネージャー  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	26,052	10.9	3,417	41.1	3,479	43.3	2,330	42.7
2024年3月期第3四半期	23,492	—	2,422	—	2,428	—	1,632	—

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 2,312百万円（48.5%） 2024年3月期第3四半期 1,556百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	44.53	44.11
2024年3月期第3四半期	31.57	31.24

（注）1. 当社は、2024年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2023年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,277	12,648	71.6
2024年3月期	17,918	13,289	72.4

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 12,364百万円 2024年3月期 12,967百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2025年3月期	—	21.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	29.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	10.6	4,000	32.0	4,070	34.9	2,725	33.6	52.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	53,419,200株	2024年3月期	53,419,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,016,594株	2024年3月期	1,200,982株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	52,331,278株	2024年3月期3Q	51,706,422株

(注) 当社は、2023年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)におけるわが国の経済は、円安に伴うコスト負担の高まり等により足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調を示しました。中でも、当社主要顧客である大手製造業の景況感は、低迷していた自動車生産の回復や、人工知能(AI)関連の半導体製造装置の需要増加などがプラス材料となり、回復基調となっております。日銀が公表する全国企業短期経済観測調査(短観)においても、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数は同期間で小幅に改善しており、設備投資も持ち直しの動きが見られました。

このような環境の下、依然としてマーケット全体の慢性的人材不足感があり、当社主力のエンジニア派遣サービスへの需要はコロナ以前同様の高い水準に回復しました。エンジニア人材に対する強い需要を反映し稼働平均単価も上昇しており、当第3四半期連結会計期間における平均単価は4,056円と上昇しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,052百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は3,417百万円(前年同期比41.1%増)、経常利益は3,479百万円(前年同期比43.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,330百万円(前年同期比42.7%増)となり、いずれも前年同期を上回っております。

また、当社は、「スキルがつながる世界へ。」をミッションに掲げ、機械・電機系学生の学びやエンジニアが持つスキルと、企業が求めるスキルとのつながりを、人工知能(AI)によって結びつける、独自のマッチングシステム「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。当社は機電系エンジニア人材市場において、この「コグナビ」のマッチングテクノロジーを駆使し、エンジニアと企業をスキルでつなぐ世界の実現を目指しております。また、新卒理工系学生の就職支援から、転職、人材派遣、教育まで、エンジニアのすべてのキャリアシーンを、「コグナビ」がサポートしてまいります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ派遣」は、顧客企業の需要に確実に応えるべく、稼働人員数の更なる増加に繋げるため、派遣エンジニアの採用強化に取り組んでおります。当第3四半期連結会計期間末時点の稼働人員数は、前年同期と比べ237名増加し、4,466名となりました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ新卒」は、機電系学生年間約4万人すべてがメーカーに就職し、エンジニアとして働ける世界を実現するため、元メーカーエンジニアの当社社員が講師となり、大学3年生を対象にエンジニアの魅力を伝える「エンジニア職セミナー」を機電系学科のある大学で実施しております。当期は2026年卒の理工系学生を対象としたセミナーを精力的に実施し、新規会員数の獲得に注力しております。当第3四半期連結会計期間末時点で2026年卒の会員数は10,412名となりました。当社はこのセミナーを実施することによって培われた大学とのつながりを活かし、第2の収益の柱とすることを目指してまいります。

経験者採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ転職」は、「コグナビ新卒」でメーカーに就職したエンジニアが、やがて転職する際の受け皿となり、この流動機会を捕捉し、中長期には第3の収益の柱とすることを目指してまいります。

エンジニア育成の研修を大学で実施するために両者の連携をサポートするサービス「コグナビカレッジ」は、大学教授の保有スキルをデータベース化する事で、企業のリスキリング需要に沿った専門性の高い研修を、提携大学にて実施しております。当第3四半期連結会計期間末時点の研修受講者数は649名と、前年同期の492名と比べて157名増となりました。

また、連結子会社であるCognavi India Private Limitedが運用中のインド初のAI(人工知能)マッチング技術を駆使したジョブポータルサイト「Cognavi(コグナビ)」は、大学や企業のニーズなど、インドの市場環境に合わせたビジネスモデルを現地スタッフが考案し、機電系学生のみならず、すべての学生を対象とした新卒採用メディアとしてビジネス展開しております。2025年1月時点における学生会員数は約21万名に達し、サービス導入企業数も約5,500社と急速に増加中です。

なお、当社グループはエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ682百万円減少いたしました。これは主に売掛金が280百万円増加した一方で、現金及び預金が1,059百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加いたしました。これは主に使用権資産が68百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は17,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が41百万円減少したことによるものであります。固定負債は78百万

円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主にリース債務が60百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,628百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ641百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を2,330百万円計上した一方、剰余金の配当3,058百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は72.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想および期末配当予想につきましては、本資料の公表時点において、2024年11月8日付で公表いたしました「通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、変更はありません。

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応をしており、企業価値（株価・時価総額）の向上を経営の重要課題と位置付けています。当社中期経営計画「cognavi Vision2026」最終年度の計画値（営業利益率12.4%、ROE23.5%）の達成と、注力事業への集中及び成長投資の実施、さらに株主還元策としての「安定配当」と「継続的な増配」を方針としております。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,006	9,947
売掛金	3,959	4,239
その他	151	247
流動資産合計	15,117	14,434
固定資産		
有形固定資産	417	470
無形固定資産	1,157	1,123
投資その他の資産		
その他	1,225	1,247
投資その他の資産合計	1,225	1,247
固定資産合計	2,800	2,842
資産合計	17,918	17,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	800	1,076
未払法人税等	796	755
賞与引当金	1,726	902
役員賞与引当金	—	19
その他	1,294	1,797
流動負債合計	4,618	4,550
固定負債		
リース債務	6	67
その他	3	11
固定負債合計	9	78
負債合計	4,628	4,628
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	142
利益剰余金	13,242	12,514
自己株式	△568	△476
株主資本合計	12,921	12,297
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	46	66
その他の包括利益累計額合計	46	66
非支配株主持分	322	283
純資産合計	13,289	12,648
負債純資産合計	17,918	17,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	23,492	26,052
売上原価	16,439	17,921
売上総利益	7,053	8,130
販売費及び一般管理費	4,630	4,713
営業利益	2,422	3,417
営業外収益		
受取利息	0	58
受取手数料	1	2
未払配当金除斥益	2	0
助成金収入	9	8
その他	0	0
営業外収益合計	14	70
営業外費用		
支払利息	4	4
シンジケートローン手数料	3	2
その他	0	0
営業外費用合計	7	7
経常利益	2,428	3,479
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,428	3,479
法人税等	818	1,192
四半期純利益	1,610	2,287
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△42
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,632	2,330

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,610	2,287
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△53	25
その他の包括利益合計	△53	25
四半期包括利益	1,556	2,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,577	2,351
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△38



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	298百万円	299百万円